
「肩腱板断裂患者のポジショニングにおける術後疼痛緩和の有効性」

に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんの情報を用いた以下の研究を実施いたします。本研究は、埼玉医科大学総合医療センター研究倫理委員会の承認を得て、病院長による許可のもとを行うものです。本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

埼玉医科大学総合医療センターにおいて、2025年1月1日から2025年8月31日までに肩腱板断裂と診断され、手術を実施した患者とします。

2. 研究の目的

当院では肩関節疾患は術後1日目からリハビリテーションの介入を開始しているが、術後疼痛の訴えによりリハビリが円滑に進まずに苦慮することも少なくありません。そのため、昨年度に理学療法士による肩関節疾患の術後疼痛に対するポジショニングの必要性について勉強会が実施されました。しかし失念や実施の統一がなされていないなどの理由によりポジショニングの実施が徹底できていなかったという現状があります。腱板断裂などの肩関節疾患の術後においては、肩関節の角度によって関節内圧が上昇し、痛みを感じやすいといわれているため、術直後から良肢位が保持できるよう関わっていく必要があります。自部署では、ポジショニングによる術後疼痛緩和の有効性については検証されておらず、術後疼痛は、早期離床や円滑なリハビリテーションの介入を妨げる要因であるため、患者さんの感じる苦痛を最小限にするための関わりは重要であると考えました。そこで、肩腱板断裂術を実施する患者さんを対象に、術後ポジショニングの実施の徹底を図り、疼痛緩和の有効性を明らかにすることで、患者さんの苦痛の軽減や円滑なリハビリへつながると考え、本研究に取り組むこととしました。

3. 研究期間

研究期間：自機関の長の実施許可日～西暦2026年3月31日

4. 利用または提供の開始予定日

2025年11月6日

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

本研究で収集・利用する情報の内容は以下の通りとします。

本研究では試料を収集しない。収集する情報は次の通りとします。

研究対象者の背景	年齢、性別、鎮痛剤使用の有無、鎮痛剤の使用種類数、ポジショニングの実施の有無
症状および所見	術後初回リハビリテーション時のNRS

※この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学総合医療センターにおいて、研究責任者である清野隼平が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

肩腱板断裂と診断された患者さんの適格性判定後、研究期間内の任意のタイミングで診療録から情報を収集します。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

- ・埼玉医科大学総合医療センター 6階西病棟 清野隼平（研究責任者）
- ・埼玉医科大学総合医療センター 6階西病棟 菊地あゆみ
- ・埼玉医科大学総合医療センター 6階西病棟 本橋奈津紀
- ・埼玉医科大学総合医療センター 6階西病棟 黒岩伸哉
- ・埼玉医科大学総合医療センター 6階西病棟 大根田菜々
- ・埼玉医科大学総合医療センター 6階西病棟 畠山恵梨

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学大学総合医療センター 病院長 別宮好文

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはできません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

〒350-8550 埼玉県川越市鴨田 1981 番地

埼玉医科大学総合医療センター

6階西病棟 看護師 清野隼平

TEL : 049-228-3634 (土日祝日を除く平日 9:00~17:30)